

歳入

- Q 個人町民税が前年度比1億843万円減となった理由は？**
A 国の定額減税による影響。
Q ふるさと納税に伴う個人町民税の控除額は？
A 控除額は5,664万円程度。件数は1,583件。

福祉・健康

- Q MIZCUL (ミズカル)の委託の内容と成果は？**
A だんだん畑でのICT活用や町民農園プログラムの企画運営などを委託した。オープン後、実現可能性のある計画となったと考えている。



MIZCUL (ミズカル)

- Q 子ども計画を策定したが、子どもたちの意見などが計画に反映されたのか？**
A 産業まつり、こどもフェスティバルで子どもたちから意見を聴き、子ども計画の中に掲載した。
Q 子ども家庭支援センターでの養護相談が255件と報告されているが、どのように対応したのか？
A 職員が直接児童と会って、身体の傷やあざがないかなどの安全確認をし、保護者からも聞き取り、重篤な場合は、児童相談所に案件を送致して対応した。相談件数は増加傾向にある。

産業・観光

- Q ふるさと納税返礼品の特徴は？**
A 加工品が79品目、工業製品が42品目、農畜産物や体験できるものなどがあり、件数では特にプロテインが好調。
Q プロモーション動画制作業務委託料の成果は？
A 再生回数が約2万回となった。動画の2次元コードを冊子などに入れることで、デジタルとアナログとのハイブリットで町のPRができるようになった。



町の観光PR動画

教育

- Q 学習サポーターが20名からクラスサポートスタッフ10名に変更になったが影響はなかったか？**
A 学校現場からはさらに充実してほしいとの声があがっている。都との連携事業であり、研究を進めている。
Q 不登校対策の取り組みと成果は？
A 教育支援室「いぶき」を居場所として紹介した結果、利用者が増加した。また、二中には心の居場所「つむぐ」を開設した。
Q 予算の段階ではスクール・ソーシャル・ワーカー2名体制であったが、9月までは1名での対応となった。影響はなかったのか？
A 一時期欠員が生じ、苦しい状況もあったが、ローワークなどと連携し、募集をかけて9月から採用することができた。

生活・環境

- Q ごみ量は微減し、リサイクル率が増加しているが要因は？**
A 6年度から硬質プラスチックと剪定枝のリサイクルを始めた影響と考えている。

交通

- Q デマンド交通の利用者が増えていないが、その対策は？**
A 認知されるまでに時間を要している。広報の充実、東西区分の休止(利用促進キャンペーン)で利用者が増えてきている。
Q コミュニティバスの代替交通であるデマンド交通は、制限を設けず誰でも使えるようにすべきでは？
A 路線バス、コミュニティバスを利用するのが困難な方向けの交通手段と考えている。

くらし・安全

- Q 騒音測定機器更新で静止画機能追加の効果は？**
A 都のカメラが撮影した静止画を町でも見られるようになった。騒音の苦情を受けた際に、飛行の実態と機種、飛行ルートの確認に活用できている。
Q 消防団員の制服などの購入費が高額になった理由は？
A 令和7年度の消防団員の改選に合わせ、消防団員170人分の新基準の制服などを新調した。



7月27日に実施された消防団消防ポンプ操法審査会

今回の議会には、令和6年度一般会計・各特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議においてすべての会計ともに全会一致で認定しました。



決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、委員長に香取幸子議員、副委員長に大和雅彦議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く12名により、3日間にわたり町側へ質疑し、4日目に議員間討議を行いました。

まちづくり

- Q 沿線まちづくり検討業務委託料約1,412万円の成果は？**
A 新駅周辺だけではなく、より広域的に町全体にその恩恵を広げていくという観点から町の他の事業との連携を分析した。
Q 駅西土地区画整理事業における保留地処分は、令和6年度でどこまで進んだのか？
A 令和6年度末をもって、面積換算で約78.7%の販売実績となっている。



討議対象となった施策 (P8・P9 参照)

※決算書の詳細は
HPでご覧になれます。

